

ヨコレイ NOTE VOL.26

第74期中間報告書

2020年10月1日～2021年3月31日

ごあいさつ・財務ハイライト (P1)

What's ヨコレイ VOL.9 (P2)

営業の概況・事業別の概況 (P3)

中間連結財務諸表(要約) (P4)

会社情報 (P5)

新任社外役員のご紹介 (P6)

「食の安全・安心」が家族の笑顔をつくる



「人」に「もの」に「地球」に “やさしい” 食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまおよび、感染拡大により困難な生活環境におられる皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く収束することを心から願っております。

第74期中間期（2020年10月1日～2021年3月31日）の経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは2023年を最終年度とする中期経営計画（第1期）「創る力」を策定し、冷蔵倉庫事業は「事業モデルの創造」、食品販売事業は「新たな食の価値の創出」を方針とし、最終年度（2023年9月期）に「連結売上高1,310億円」「連結営業利益60億円」「EBITDA120億円」の定量目標およびサステナビリティ目標達成に向け、各重点施策に取り組んでおります。

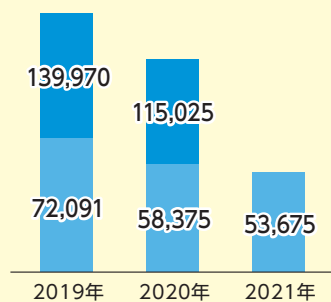
当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高53,675百万円（前期比8.1%減）、営業利益1,854百万円（前期比3.1%減）、経常利益2,348百万円（前期比7.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,345百万円（前期比4.9%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

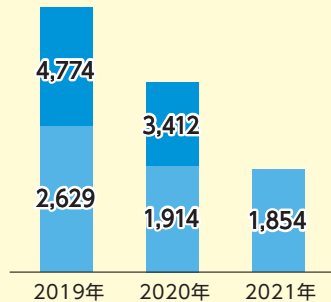
代表取締役社長 松原 弘幸

財務ハイライト

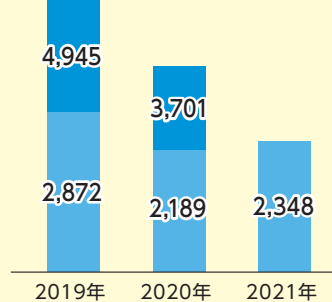
売上高（百万円）
■ 中間 ■ 通期



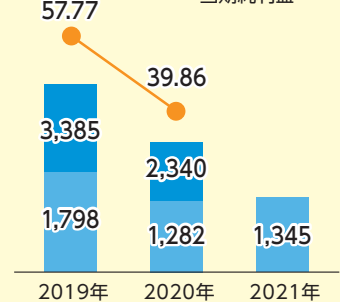
営業利益（百万円）
■ 中間 ■ 通期



経常利益（百万円）
■ 中間 ■ 通期



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(百万円) /
1株当たり当期純利益(円)
■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり
当期純利益



What's ヨコレイ

VOL.9
物流拠点のSDGs対応

環境保全と省力化・ 先進大型冷蔵倉庫 「福岡ISLAND CITY」

2021年1月、国際物流拠点の形成を目指す能強化が進められる博多港「アイランド」当社グループ最大規模の物流拠点「福岡CITY物流センター」が竣工し、稼働を開始。本センターは、SDGs目標の達成に向く角度から環境保全および省力化・省人物流効率の大幅な向上を図った最新鋭の冷蔵倉庫です。

本センターを中心に、地区の低温物流を網を構築し、貿易機能の拡充に努めてま

所在地

福岡県福岡市東区みなと香椎3丁目29-8
(アイランドシティみなとづくりエリア内)

構造・規模

- 鉄筋コンクリート造4階建
- 敷地面積14,504㎡
- 延床面積27,195㎡
- 冷蔵収容能力32,265t
(F級31,594t/C級671t)

高効率化を実現

「物流センター」が稼働

して港湾機
シティ」内に、
岡ISLAND
始しました。
けて、様々な
化を追求し、
港湾・物流型

通じた物流
いります。



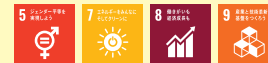
① 冷凍設備



温度変化が少ない自然対流冷却方式で貨物の品質を保持。高い省エネ効果と環境性能を発揮するノンフロンの高効率自然冷媒冷凍機とハイブリッドデシカント陽圧除湿空調システムを導入。



② 省力化・省人化



カーナビゲーションシステムと連動した電動式移動ラックを導入。誰でも正確かつ迅速、効率的な作業が可能に。トラック予約受付システムの活用により、トラック待機時間の問題を解消。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国連加盟国が2030年に向けて達成を目指す持続可能な開発目標(=SDGs)。福岡ISLAND CITY物流センターは、ここに示す8つの目標を実現します。

③ 物流の効率化



物流総合効率化法の認定を取得(当社5拠点目)。本センターに拠点機能・輸送網を集約することで、物流を大幅に効率化するとともに、CO₂排出量の低減を実現。



④ 省エネ・環境設備



屋上太陽光発電システム(487.4kW)を設置。ノンフロン防熱材やLED照明の採用、非常用リチウムイオン蓄電池の導入など、先進機能を集約した「人に・環境にやさしい設備」。



⑤ 女性が活躍する職場



従来の施設に比べて女性用化粧室・更衣室を大幅に増加。オペレーションシステムによる作業負荷の軽減とともに、女性社員・ドライバーにとって快適で、働きやすい労働環境を整備。



営業の概況・事業別の概況

営業の概況

当中間期の概況

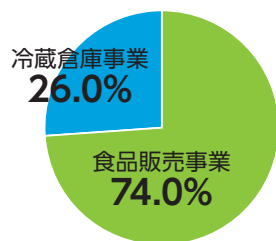
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から、引き続き厳しい状況が続く。ワクチン接種が開始されたものの、変異種による再拡大の恐れもあり、景気の先行きは不透明な状況。

中期経営計画(第I期)「創る力」を策定。冷蔵倉庫事業は「事業モデルの創造」、食品販売事業は「新たな食の価値の創出」を方針とし、最終年度の定量目標およびサステナビリティ目標達成に向け、各重点施策に取り組む。

事業別売上高構成比

当中間期(2021年9月期)
売上高合計

53,675百万円



今期の見通しと業績予想について

冷蔵倉庫事業は、在庫の落ち着きにより通常のペースで堅実な収益を見込んでいます。食品販売事業は、養殖事業は厳しい収益環境が見込まれますが、構造改革の成果で国内販売事業の収益性が大幅に回復しています。以上を前提に、通期の業績予想について、以下の通り予想します。

売上高	1,110	億円
営業利益	39	億円
経常利益	38	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	24	億円
1株当たり当期純利益	40円87銭	

事業別の概況

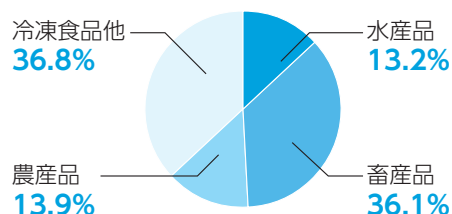
冷蔵倉庫事業

前期はコロナ禍による荷動きの停滞から、非常に高い在庫水準で推移したが、取引先が在庫の調整を行ったほか、海上コンテナ不足による貨物の入船遅れから在庫量が減少し、減益。

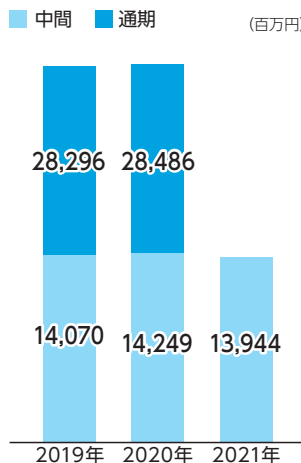
タイの連結子会社THAI YOKOREI CO.,LTD.は、主要保管品目の畜産品を主としてコロナ禍による労働者不足や生産調整により生産量が落ち、在庫が減少し減益。

当事業の業績は、売上高13,944百万円(前期比2.1%減)、営業利益3,198百万円(前期比9.6%減)の減収減益。

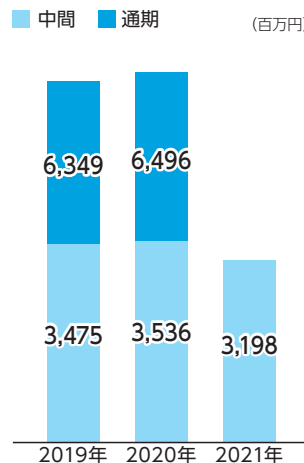
当中間期在庫量品目別割合



売上高



営業利益



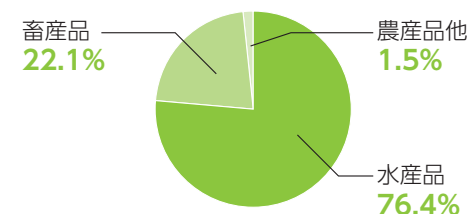
食品販売事業

水産品はコロナ禍のなか、在庫を抑え利益重視の堅調な販売を続け、鮭鱒、ホタテ、ウナギなど各主要品目で増益。畜産品は外食向けが減少するも、在庫を抑え、収益性重視の販売を行い、チキン、ビーフは増益。ポークも収益性が改善し、微増益。

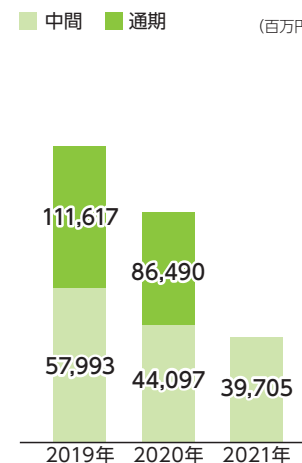
農産品は量販向け・加工向けのイモ類が好調で増益。ノルウェー養殖事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う欧米での需要減少、シーライス(寄生虫)除去の生産コスト増加により減益。

当事業の業績は、売上高39,705百万円(前期比10.0%減)、営業利益143百万円(前期は277百万円の損失計上)の減収増益。

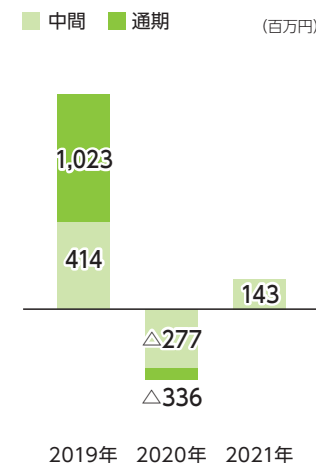
当中間期品目別売上高構成比



売上高



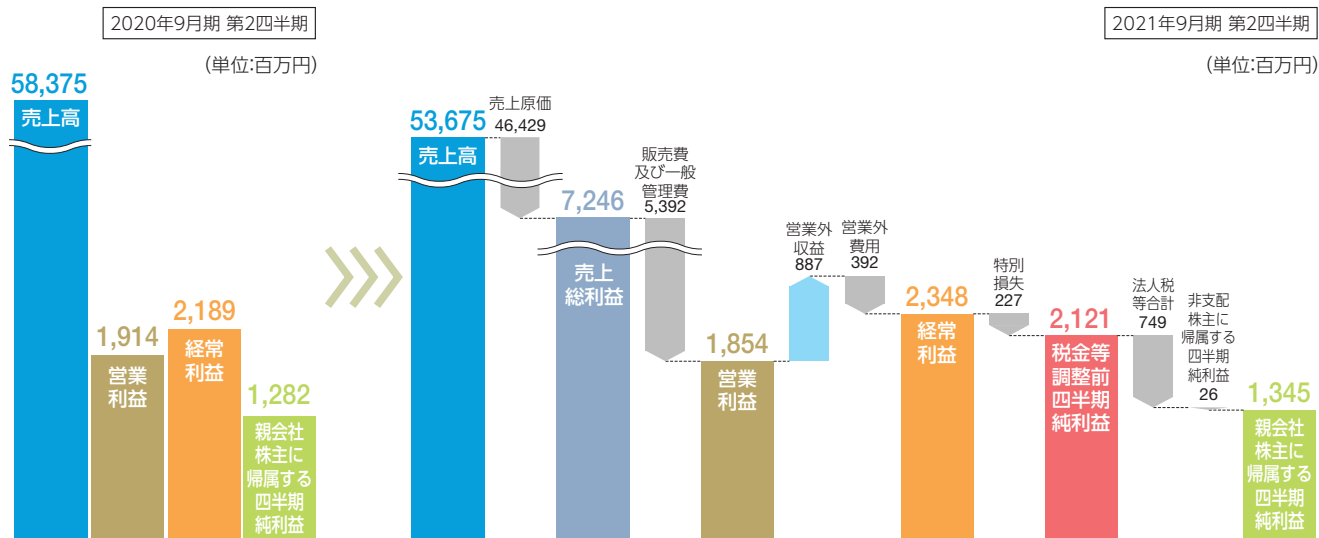
営業利益



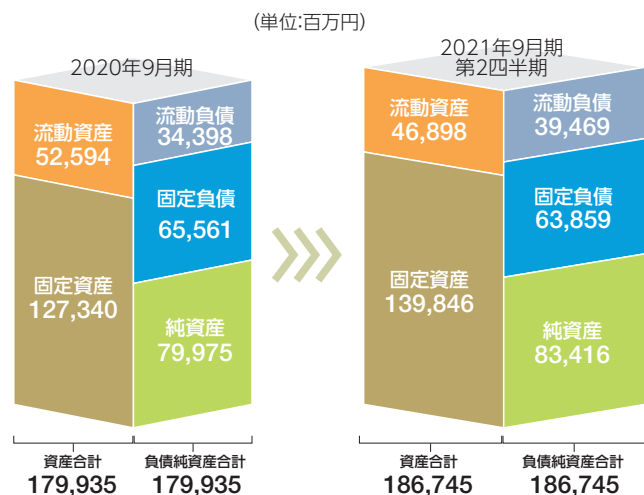
中間連結財務諸表(要約)

中間連結財務状況

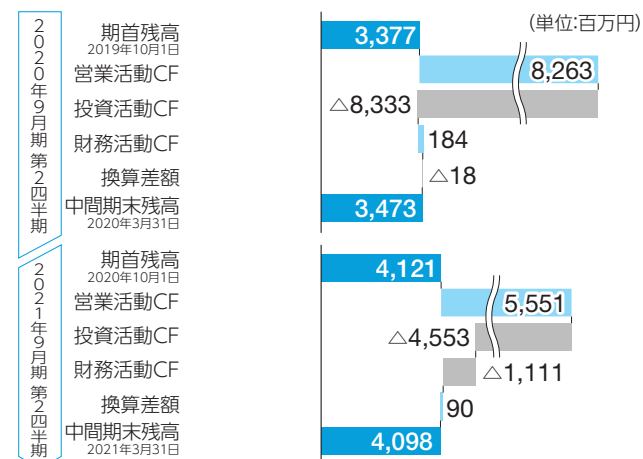
◆ 損益の状況



◆ 資産・負債・純資産の状況

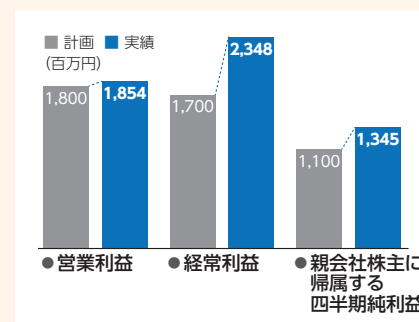


◆ キャッシュ・フローの状況



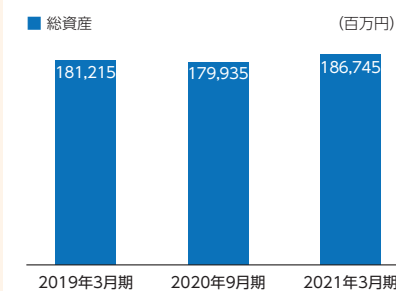
POINT 1 利益計画は予定通り達成

コロナ禍の厳しい環境下でしたが、中計初年度となる当第2四半期は、当初の目標を上回る滑り出しとなりました。経常利益が大きく上回っているのは、為替差益やスワップ損益の改善等によるものです。



POINT 2 総資産の増加

流動資産の減少および固定資産の増加はノルウェーホフセス社への短期貸付金の一部を優先株式に切り替えたことなどによるものです。これにより資産は前年同期より55億円、前期末から68億円の増加となりました。



会社概要

会社名 横浜冷凍株式会社

本社所在地 〒220-0012
横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいブランドセントラルタワー7階
TEL : 045-210-0011 (代表)
FAX : 045-210-0018

設立 1948年5月13日

資本金 14,303,426,625円

従業員数 連結 1,693名 単独 1,254名

業務内容 1. 冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
2. 水産品の加工、販売並びに輸出入
3. 農畜産物の加工、販売並びに輸出入
4. 不動産賃貸業
5. 通関業
6. 貨物利用運送事業並びに貨物自動車運送事業
7. 食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
8. その他前各号に付帯関連する一切の事業
(定款における事業目的)

役員および執行役員

代表取締役会長	吉川 俊雄	上席執行役員	野崎 博嗣
代表取締役社長	松原 弘幸	執行役員	千田 重賢
取締役副社長	井上 祐司	執行役員	安田 正美
取締役	越智 孝次	執行役員	岩倉 正人
取締役	吉川 尚孝	執行役員	池田 浩人
取締役	花澤 幹夫	執行役員	田中 明彦
取締役	古瀬 健児	執行役員	吉田 豊
取締役	岡田 洋	執行役員	内山 卓爾
取締役(社外)	加瀬 兼司	執行役員	星野 義明
取締役(社外)	酒井 基次	執行役員	織田 政和
取締役(社外)	堀合 洋祐	執行役員	中尾 成人
常勤監査役(社外)	井上 啓造	執行役員	根岸 尚登
常勤監査役(社外)	林 修三	執行役員	星 光孝
監査役(社外)	棚橋 栄蔵	執行役員	小松 晃子
監査役(社外)	宗像 久男		

ネットワーク (2021年4月1日現在)

冷蔵倉庫事業 48拠点

北海道ブロック
十勝物流センター
十勝第二物流センター
十勝第三物流センター
石狩物流センター
石狩第二物流センター
喜茂別物流センター

東北・圏央ブロック
八戸物流センター
気仙沼ソーティングスポット1号
仙台物流センター
つくば物流センター
加須物流センター
加須第二物流センター
鶴ヶ島物流センター
幸手物流センター
伊勢原物流センター

京浜ブロック
東京物流センター
東京第二物流センター
東京羽田物流センター
大黒物流センター
横浜物流センター
横浜みらいサテライト
山内物流センター

中京・東海ブロック
沼津物流センター
大井川物流センター
名古屋物流センター
中川物流センター
小牧物流センター
名港物流センター

阪神ブロック
北港物流センター
西淀物流センター
夢洲物流センター
舞洲物流センター
六甲物流センター

九州ブロック
福岡物流センター
福岡ISLAND CITY物流センター
鳥栖物流センター
鳥栖第二物流センター
唐津ソーティングスポット
長崎物流センター
長崎ソーティングスポット
佐世保ソーティングスポット
都城物流センター
都城第二物流センター
志布志物流センター
鹿児島物流センター
川辺物流センター

枕崎ソーティングスポット
山川物流センター

食品販売事業 28拠点

十勝営業所
札幌営業所
東日本畜産営業部
名古屋出張所
西日本畜産営業部
福岡出張所
海外営業1部
海外営業2部
海外営業3部
海外営業4部
東京営業所
名古屋営業所
沼津出張所
大阪営業所
福岡出張所
八戸営業所
気仙沼営業所
仙台営業所
銚子営業所
茨城出張所
唐津営業所
佐世保営業所
長崎営業所
枕崎営業所
鹿児島出張所
企画開発部
EC推進室
販売管理部

連結子会社

THAI YOKOREI CO.,LTD. (タイ)
ワノイ物流センター
ワノイ物流センター2号棟
バンパコン物流センター
バンパコン第2物流センター
サムロン物流センター
BEST COLD CHAIN CO.,LTD. (タイ)
HIYR AS (ノルウェー)
Hofseth Aqua AS (ノルウェー)
Aspoy AS (ノルウェー)

非連結子会社

株式会社グローバルエイジェンシー
パックス冷蔵株式会社
Yokorei Co., Ltd. (タイ)

株式の状況

発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 59,266,684株
株主数 13,244名

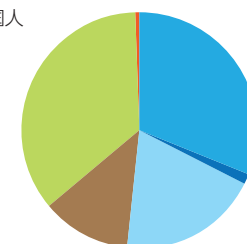
大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,916	6.63
株式会社松岡	2,551	4.32
第一生命保険株式会社	2,205	3.73
株式会社横浜銀行	2,176	3.68
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,087	3.53
農林中央金庫	1,473	2.49
株式会社八丁幸	1,411	2.39
横浜冷凍従業員持株会	1,178	1.99
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,145	1.94
株式会社サカタのタネ	1,022	1.73

(注) 持株比率は自己株式(210,932株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

■ 金融機関 18,539千株 31.3%	■ 外国法人・外国人 7,133千株 12.0%
■ 金融商品取引業者 725千株 1.2%	■ 個人・その他 21,185千株 35.7%
■ その他の国内法人 11,471千株 19.4%	■ 自己名義 210千株 0.4%



新任社外役員 のご紹介

第73期定時株主総会にてご承認いただき、新たに選任された社外取締役1名と社外監査役3名をご紹介します。社外役員を増員した当社経営陣は、一層のガバナンス強化に努め、企業価値を向上させてまいります。



社外取締役
堀合 洋祐

公認会計士・税理士として、長年にわたり多くの顧問企業先の会計・税務業務および経営相談に携わってきました。これらを通じて得た企業財務に関する知見や経験をもとに、経営における意思決定の妥当性・適正性を担保すべく、客観的で拡がりのある視点を提供し、有効な助言・提案に努める所存です。

そしてヨコレイの一員として、企業理念「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」の具現化に寄与し、株主の皆さまとともに歩んでまいります。

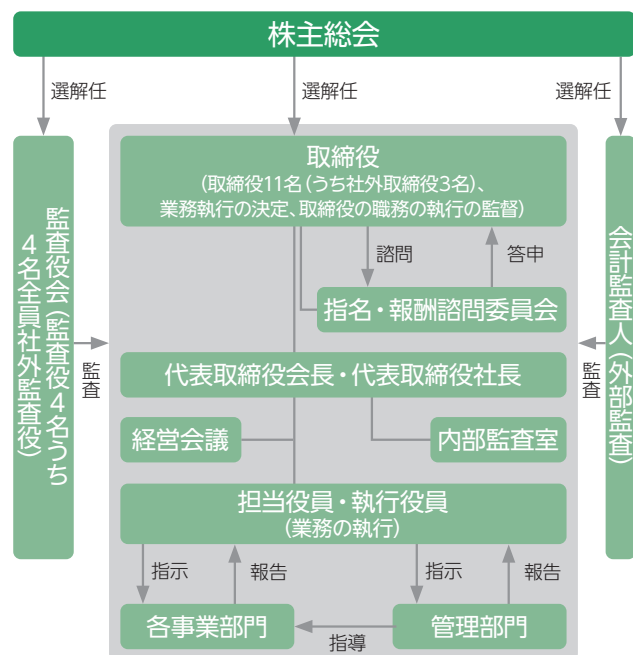
そしてヨコレイの一員として、企業理念「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」の具現化に寄与し、株主の皆さまとともに歩んでまいります。



社外監査役（常勤）
井上 啓造

これまでJA全農で経理と内部監査に従事し、物流子会社の監査役および代表取締役を務めてきました。今後は上場会社の監査役として、過去に関わってきた会社法に加え、金融証券取引法にも精通する必要があり、またコーポレートガバナンス・コードやステュワードシップ・コードなど、行動規範の変化にも対応したチェックと提言が求められると認識しています。

当社が提供する冷蔵品質は極めて高く、その強みを活かした企業価値向上を支えたいと考えています。



社外監査役（常勤）
林 修三

28年勤めた農林中央金庫では、融資業務や農・漁協信用事業の企画推進・組織整備などに携わり、支店長職も経験しました。その後は、一般企業の営業や農林漁業信用基金の保証保険業務に従事してきました。

ヨコレイが育ててきた企業風土に敬意を払いつつ、これまでの業務で経験したリスク管理やコンプライアンスに関する知見を活かし、事業環境が激しく変化中、適切なガバナンスのもとで持続的な成長を遂げることができるよう、力を尽くしてまいります。



社外監査役
宗像 久男

陸上自衛隊に36年間在籍し、指揮官として部隊を率いる一方、陸上幕僚監部の幕僚として、防衛力整備や人事行政、広報などの業務に従事してきました。

我が国の食料安全保障の一翼を担うヨコレイの企業価値を一層高め、強固な社会的信頼を築くべく、特に危機管理や大規模災害に備えた体制整備などの分野で貢献したいと考えています。また組織経営の健全化についても、パワーハラスメント対応など最近のトレンドを踏まえた提言ができるかと思います。

新施設をオープン

2021年2月、横浜みらいHRD・横浜みらいサテライトの敷地内に「横浜みらいラボラトリー」が完成しました。安心・安全で高品質な商品を提供するために、自社内で各種検査を行える施設です。

2021年7月には長崎県平戸市に「平戸アイスファクトリー」を新設し、製氷事業へ進出します。完全自動化・無人化された製氷システムと自然冷凍凍凍機を導入した、人と地球にやさしい製氷工場です。



横浜みらいラボラトリー



平戸アイスファクトリー

株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月 定時株主総会の議決権 9月30日
基準日	剰余金の期末配当 9月30日 剰余金の中間配当 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 https://www.yokorei.co.jp/investors/publication/index.html
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所（第1部）
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主還元方針

■ 配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、安定した配当を維持していくことを目標としています。

1株当たり年間配当金
23円（中間配当金）
11.5円

■ 株主優待

当社は、株主の皆さまからのご支援に対する感謝とヨコレイグループの事業内容をご理解いただくため、年1回、ヨコレイグループ取扱商品を以下の基準でお届けいたします。

対象株主 毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主さま。

実施時期 11月下旬から発送を予定しています。

■ 2020年9月期実績

(1) 1,000株以上～3,000株未満保有の株主さま

(2) 3,000株以上保有の株主さま

「ヨコレイグループ生産サーモントラウト詰合せ」
サーモントラウト切身(無塩) (90g×3切×2パック)
サーモントラウト切身(有塩) (90g×3切×2パック)
スモークサーモン(50g×3パック)

「北海道産のホタテ・いくらセット」
いくら醤油漬け(500g)
生食用ホタテ貝柱(1,000g)



ホームページのご紹介

▶ <https://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスや財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。

また、食の安全・安心や環境、社会貢献活動などのCSRの取り組みをご紹介します。

ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ

IRページ

